国際ロータリー　第2570地区　新座ロータリークラブ会報　2025～2026年度

NIIZA　Rotary　weekly

第1897号

令和7年10月2日　発行

国際ロータリー会長　フランチェスコ・アレッツォ　～良いことのために手を取り合おう～

第2570地区ガバナー　坂口　孝　『クラブ強化と活性化のために行動してください』

会長方針　森　克巳　『楽しく奉仕！　未来に繋ぐ ロータリーの輪 』

UNITE FOR GOOD

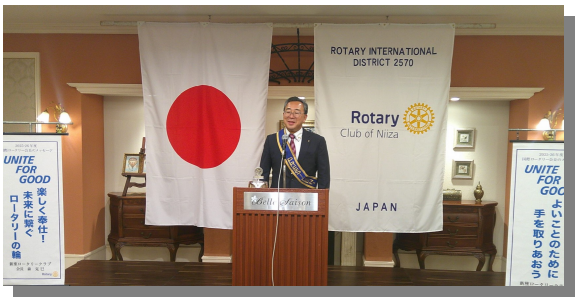
会長　森　克巳　　副会長　鈴木　明子　　幹事　松岡　昌宏

第2283回例会　9月第3週　9月18日（木）

通常例会『会員卓話』　山腰　拓実会員

司　会　親睦活動委員　石原　勇介
点　鐘　会長　森　克巳
ソング　「我らの生業」

会長の時間　会長　森　克巳



皆さんこんにちは。本日も例会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

先日（9月7日・日曜日）、2570地区の社会奉仕セミナーに参加して参りました。

社会奉仕活動は、ロータリーの原点ともいえる主要な活動の一つですので、不勉強な私自身とても必要性を感じて、今回、学習して参りました。

セミナーでは、埼玉県福祉部地域包括ケア課の職員の方の講演がございました。

テーマは「ヤングケアラーのために私たちができること」。以前は、「ヤングケアラー」という言葉を聴くことが、あまりなかったと思います。

ここ数年の間で、社会問題として取りざたされるようになってきたようです。

「ヤングケアラー」とは、「家族の介護その他の日常生活上の家族の世話を過度に行っていると認められる子供や若者」と「子ども・若者育成支援推進法」によって定義されています。

この定義の中に「過度に」というフレーズが入っていますが「過度に」とは、家族の介護その他の日常生活上の世話を行うことにより「社会生活を円滑に営む上での困難を有する状態に至っている場合・・・を指すそうです。

障害のある家族がいて、その介護のために、友達と遊ぶ時間がなかったり、受験勉強する時間がなかったり、様々な場面で障害があり、不自由な生活を送っている子供や若者がいます。

この「ヤングケアラー」と呼ばれる人は、ある調査によると、学校の１クラスに一人くらいの割合で存在するといわれています。

社会的な背景として核家族化があります。少人数家族なので、家族一人（親や兄弟など）が要介護になってしまうと、家族内での役割分担が難しくなって、一人に負担が重くのしかかってしまうという実態があるようです。このように生活上の困難を抱えている人たちの中で、その悩みや不満を話せる相手がいない人が、４人に一人いると言われています。困った時や、悩んだ時に、話を聴いてもらえる場所や人が望まれているようです。

子どもや若者にとって、自らの悩みや困難を、安心して話すことが出来る「信頼できる大人」が求められています。
我々ロータリアンは、正にそんな「信頼される大人」になることのできる貴重な存在であると強く思います。今回のセミナーでは、今後の社会奉仕活動の大いなるヒントを得たと思っています。
　さて、本日の卓話は、山腰会員にご登壇頂きお仕事関係のお話をして頂きます。山腰会員は、行政書士として外国人の入管業務などをなさっています。貴重なお話を聴くことが出来る貴重な機会ですので、とても楽しみにしております。
本日も、どうぞよろしくお願い致します。

幹事報告　幹事　松岡　昌宏

１、地区事務所より６件受信
　１）１１月Ｒ財団月間卓話者提出クラブ一覧
　２）2025年度標準ロータリー定款、推奨ロータリークラブ細則
　３）ハイライトよねやま３０６号
　４）月信９月号が地区ホームページに掲載
　５）２０２８－２９年度ガバナー候補者(ガバナーノミニー・デジグネート)指名公表
　　ガバナーノミニーの氏名　：齊藤　大祐氏
　　所属クラブ：鶴ヶ島ロータリークラブ
　６）地区大会記念ゴルフコンペ登録料送金明細
１、新座市国際交流協会第３回理事会概要報告及び第１回国際交流デー実行委員会次第受信
1、令和７年秋の全国交通安全運動の実施要項
　日時：９月１９日（金）１０時
　場所：カインズ新座店
１、オペラ彩より後援依頼
１、朝霞ロータリークラより会報拝受
１、新座こぶしロータリークラブより年度計画書拝受

委員会報告

親睦活動委員会　　**委員長　石原　勇介**

「会員親睦夜間例会」へのお誘い
お忙しい事と存じますが多数ご出席下さい。
日時：１０月１８日（土）　点鐘１８時３０分
場所：「日月火」銀座店
登録料：10，000円
★本日より集金させていただきます。

スマイル報告

親睦活動委員会　　**委員　田嶋　囲式**

森　　克巳会員　本日は山腰さんの卓話ですね。楽しみにしております。宜しくお願いします。
松岡　昌宏会員　山腰会員の卓話楽しみにしています。宜しくお願いします。
神谷　　稔 会員　山腰さん、卓話楽しみにしております。
岡本比呂志会員　残暑厳しい折、皆さまご自愛下さい。
森田　輝雄会員　山腰さん宜しくお願いします。
鈴木　明子会員　山腰さん卓話を楽しみにしています。
山腰　拓実会員　本日はよろしくお願いします。
宮川　勝平会員・増渕　和夫会員・石原　勇介会員
村上　俊之会員・土屋　俊弘会員・田嶋　囲式会員
『山腰拓実会員、卓話楽しみにしています』

会員卓話

山腰　拓実

米山奨学委員会委員長の山腰です。

１０月が米山月間ですので、まずは米山奨学金の話をさせていただきます。

これは、日本ロータリー独自のプログラムで、日本で学ぶ外国人留学生を支援しております。年間約９００人を採用し、日本と世界を結ぶ懸け橋となる人材を育てています。新座ロータリーには奨学生がおりませんが、現在１１名の奨学生が2570地区に在籍しております。奨学生を巣立った米山学友も、ロータリーに恩返ししようと世界各地で活躍されており、米山学友を中心に設立されたクラブが６つあります。また米山学友も奨学会に寄付しており、個人で最も多い寄付金額はアメリカ在住の中国籍の方から寄付頂いた６８８５万円となっています。それだけ、奨学会に感謝していることなのだと思います。

本来、１０月に奨学生の卓話や交流会を実施するのですが、定例会のスケジュール上、寄付のみ集めさせていただき、お送りしたいと思いますので、皆様、寄付のご協力をお願いいたします。

また本日、仕事の話をさせていただくという事でお時間を頂きありがとうございます。

人前で話すことにあまり慣れておりませんので、聞き苦しいところもあるかと思いますがご容赦頂ければと思います。また、ちょっと原稿を作成してみたのですが、１０分くらいで終わってしまったので、イニシエーションスピーチでも話しましたが私の経歴も含めてお話したいと思います。

私は、新座市で生まれ育ちました。父が製本業を行っており、ライオンズクラブの活動をしており、いつか自分も、経営者になってみたいと思うようになりました。

高校卒業後、防衛大学へ進学することになりました。当初は、自分を鍛えたいと思っておりましたが、縦割りの厳しい組織での生活に慣れておりませんでしたので、入学当初はとてもショッキングな体験をしました。

全寮制ということを認識して着校したのですが、みんなでわいわいと楽しく生活を送ることができると思っていた自分の考えは初日に叩きのめされました。１年生から４年生まで、４～６名が一部屋に入るのですが、その一部屋事も完全な縦割り社会となり、戦々恐々としておりました。

独特な社会の中で、４年生は神、３年生は人間、２年生は奴隷、１年生はゴミというような位置づけが暗にされており、１年生の時は本当に大変だったのを覚えています。敷地内は、隊列更新するとき以外は常に走っていなければならず、上級生が通りがかった際は敬礼を行うのですが、スケジュールが細かく決められているので、焦って見逃してしまう場合も多く、そのたびに止められて叱責を受けたりですとか、容儀点検（服装点検）、入室要領、報告書作成などがありました。

容儀点検については、服装をチェックするのですが、きちんとアイロンされているか、靴や校章が磨かれているかなどがチェックされますが、最初の方は完璧にできていても、すんなりとは合格できず、「目の輝き不備」というネタのような内容で不合格にされたこともありました。とにかく叱責を受ける機会がとても多かったので、打たれ強くはなったのかなと思います。

また、２年生から私は陸上要員として、主に陸上自衛隊の訓練を行うのですが、銃の取り扱いが非常に厳しかったことを覚えています。訓練する中で薬莢が薬莢受けに入らず落ちてしまう事や、銃の手入れのため分解結合する中で、ばねピンという１ｃｍほどの小さいピンがあるのですが、なくしやすい部品なのですがそのピンをなくしてしまうと大きな問題となり、総出で捜索し、見つからない場合は連帯責任で朝から４年生まで含めた小隊全員でお叱りを受けながら走らなければならない等、少しのミスも許されないプレッシャーと闘いながら毎日を過ごしていました。

陸上の訓練をしている中で、他の国の軍部から

入学した外国人留学生もいるのですが、私が接する機会が多かったのは、ベトナム人留学生とモンゴル人留学生でした。ベトナム人留学生は小柄な体格ながらも、本当に手先が器用だなと思ったことがあります。野外訓練で拠点から敵を銃撃で迎え撃つために決められた寸法で穴を掘るのですが、ベトナム人はとてもうまく、寸法通りにまっすぐきれいに穴を掘ります。さすがゲリラ戦でアメリカを撤退させた民族だなと感心しました。

また、私は相撲部に所属していたのですが、モンゴル人は多く在籍していました。モンゴルは、モンゴル相撲という国技があり、とても強くうまかったです。モンゴル人力士として、朝青龍と白鳳を思い浮かべる方が多いかと思いますが、大学にいたモンゴル人も、朝青龍のような荒々しいタイプと、白鳳のようなおとなしく見えるタイプの２通りでした。ですが、そろってお酒が強かったです。また、お酒が入るとさらに相撲が強くなりました。大学相撲を取り上げた映画として「しこふんじゃった」という映画を見たことがありますでしょうか。元シブガキ隊の本木雅弘さんが主演のコメディー映画ですが、大学相撲の３部リーグでの優勝までの映画でした。その映画の舞台となったインカレに出場しておりました。

防衛大は、訓練もあって太ることができないので体重別や、３部の上位に位置していたのですが、全寮制で滅多に外泊できないため大会に前乗りした際に酒好きなモンゴル人の上級生がお酒をたくさん飲み、二日酔いのまま体重別の大会に出場し、優勝したのを見て、モンゴル人にお酒を飲ませたら怖いという事を痛感しました。大学の話が長くなってしまいましたが、現在私が行っている仕事についてお話したいと思います。

私の業務としては、行政書士として、外国人の在留資格の申請を入国管理局に対して行っているのと、外国人技能実習生、特定技能者の受け入れ監理団体の運営を行っています。
その他の業務も行っておりますが、本日は行政書士業と技能実習のお話ができればと思います。
ちょっと堅い話になってしまうのですが申し訳ありません。

外国人がらみの仕事というと人によっては、何か悪い事をしているのではないかと怪しまれる事もありますが、私自身は真面目に仕事をしておりますのでさけないで頂ければありがたいです。

今の日本にとっては、外国人とどう向き合うのかがとても重要な事であると考えております。
・昨今、外国人の問題が色々と取りざたされております。川口市のクルド人問題が話題に取り上げられることも多く、直近では、万博で日本に来た外国人が日本の便利さから母国に戻りたくないと難民申請を行うケースなども多くなっているようです。

先日の参院選では、外国人についてどう向き合うのかが焦点としてクローズアップされました。
争点としては、
□難民認定制度の迅速化・審査体制の改善。難民申請中の強制送還の是非など。
□在留外国人の権利保障（教育・福祉・子どもの日本語教育など）と、地域での共生の実効性。
□不法滞在・違法外国人への対応強化。
□外国人の不動産取得・運転免許取得・社会保障利用など「優遇ではないか」という批判・懸念についてです

今後も増えていくであろう外国人とどう共存していくのか、よい政策、法律を模索してほしいと思っています。

行政書士として、外国人のビザ申請の仕事についてお話させていただきます。日本における外国人のビザは３０種類以上あり、永住者ビザ、配偶者ビザ、定住者ビザ、就労ビザである「技術・人文知識・国際業務」ビザ、経営ビザ、特定技能ビザなどの申請を取り扱うことが多いです。

国籍は、中国やベトナム、カンボジア、ネパール、インドネシアなどのアジア圏がほとんどとなっています。

各在留資格の要件に合うかどうかチェックし、書類を作成して申請するのですが、どなたも自分の人生をかけて日本で生活している、生活しようとしている方たちなので、絶対に許可を取らなければならないというプレッシャーが大きいです。その分、許可が取れた際は、とても達成感がある仕事です。

ネパール料理店の経営者がビザの更新ができなくなってしまって、私に相談が来た案件がありまして、コロナ禍でスタッフが帰国していたためス

タッフ数の要件が満たされていない、雇用しているスタッフの雇用保険に入っていない、社会保険も経営者自分自身も含めても入っていないというような状況で何とか体制を整えてビザの更新ができたのですが、子供２人含めて４人家族で一生懸命日本でネパール料理店を経営されていたので、母国に帰ることなく何とか許可が下りて本当に良かったなという事もありました。
この件では、社労士である森会長にもロータリークラブでお会いする数年前に、たまたま相談に行き、丁寧に教えていただいた経緯がありました。

業務上、品川にある東京入管に行くことが多いのですが、多くの外国人が待っておりまして、申請や許可の受け取りに平均２～３時間待つことが多いです。最も待った時間として６時間ほど許可の受け取りに待たされたこともありました。又、申請してから許可が下りるまで、審査期間が長く２～３か月待つことが多いのですが、海外から呼び寄せの場合は特に時間がかかり、経営者のためのビザは１年ほど待つこともざらにあります。職員数が足りないのかもしれませんが、もうちょっと早くしてほしいなと正直思っています。

ただ、日本の法律がそぐわないのではないかなという点もいくつかあります。一つは就労ビザの「技術・人文知識・国際業務」というビザなのですが、大学、もしくは専門学校を卒業した方が申請できるのですが、この資格では単純労働は認められておりません。そのため就職のハードルが高く、日本で高いお金を払って勉強していたのに就職できず母国に帰らざるを得ないという状況があります。又、学術専門的な内容の職務を行うとして申請し、実際は単純労働を行うというケースが日本全体でとても多くあると思います。入国管理局の立場としては、これは不法就労にあたりますが、厳しく取り締まれていない現状があります。
それでもきちんと働いて納税している外国人は人手不足の日本の貴重な働き手となっているのは間違いないと思います。外国人が増えすぎると困るという見方もあると思いますが法律にのっとって在留ができるよう、法整備をしてほしいという率直に思っています。

また、経営・管理という在留資格があるのですが、この在留資格も、今年から審査が厳しくなることがニュースになっています。５００万円を資本金として会社を設立し、経営者として在留資格の申請を行うのですが、中国人のブローカーが多いのが現状です。実際に行うことがない事業計画を本人の承諾確認を得ることなく作成して提出してしまうのですが、日本に入国後、経営することが難しくウーバーイーツなどでアルバイトで生計を立てビザの更新が難しくなるケースも多くあります。この資本金の要件が、もうすぐ６倍の３００万円の出資と変更となり、常勤社員を１人以上雇用することが条件と変更されます。資金があって本気で経営を行う方でないと申請をしづらくなるのは、行政書士としては案件数が減ってしまいますが悪徳なブローカーによる被害者を減らすためには良いのではないかと思います。

この外国人のビザ申請の仕事について、不正が行われることも多く、トラブルがある話もよく聞きますしニュースになる事もしばしばあります。私も、偽装結婚の申請を持ちかけられたり、第三者から、何でもいいから事業計画を作ってほしいと依頼を持ち掛けられ、本人の経歴や意向を踏まえて作成するためにＷＥＢ面談でもいいので本人に合わせてほしいと言っても合わせてくれなかったりと、危ない話が多いので、注意しながら依頼を受けるようにしております。

次に、技能実習、特定技能についてなのですが、技能実習制度は、３年ないし５年間の期間で日本の企業に所属し、技術を学んで母国に持ち帰り母国の技術発展に寄与する目的の、国際貢献のための制度です。

特定技能制度は、日本で初めて外国人の単純労働を認めた在留資格になりまして、人材不足を補うため、５年間の就業を認めたものになります。

似た制度ではありますが、最も大きな違いは、転職ができるかどうかという事になります。
技能実習は、転職ができないため、これが人権侵害だとしてマスコミに大きく取り上げられ、２０２７年から２０３０年にかけて廃止され、育成就労制度という新しい制度に切り替わる予定となっています。こちらの制度では、当初１年ないし２年間就業した後に、転職ができる仕組みとなります。

しかし、東京や大阪のような大都市では問題ないかと思いますが、地方においては人材の確保が難しく、どれだけ地方の企業の事を考えているか疑問に思います。日本に来る労働者はアジアの貧しい国からがほとんどで、現地の仲介役となる機関から相当額の借金をしてくるため、より多くのお金を稼ぐために、給与が高い企業、地域に移り住むのは当然の成り行きです。そうした時に、今回の法改正は本当に人手が足りていない地方企業にとっては死活問題となります。ほとんどの企業が真面目に外国人材と向き合っておりますので、偏向報道ばかりを重視するのではなく、悪いことを行う企業や中間搾取を行うブローカーを取り締まり、摘発する力を強めていく方向性をもっと考えた方が良いのではないかと思います。

私は、先ほどもお話しましたが防衛大学校を卒業しており、考え方的には右寄りというか、保守的な考え方なのですが、この仕事を行っているのに葛藤を感じることもしばしばあります。その中で、仕事を通じて日本を好きになってくれる外国人が増えてくれればいいなという思いで、仕事をしております。

本日は堅い話が多くて恐縮ですが、これで終了したいと思います。

ありがとうございました。

大畑　茂ガバナー補佐訪問スケジュール

ガバナー補佐訪問タイムスケジュール

訪問日：２０２５年１０月２日（木）

場　所：例会場　ベルセゾン５階（Asama）

12:30　第2284回例会　　司会　土屋　俊弘

13:00　卓話　テーマ

「戦略計画と優先される目標について」

第2グループガバナー補佐　大畑　茂様

13:30　閉会点鐘　　会長　森　克巳

坂口　孝ガバナー公式訪問スケジュール

ガバナー公式訪問　タイムスケジュール

訪問日：２０２５年１０月１６日（木）

場　所：ベルセゾン（６Ｆ　Fuyo）

11:00　ベルセゾン１Ｆ集合　会長・幹事

11:15　懇談会（２Ｆ　kaede）

12:00　食事　例会場にて全員で

12:30　第2285回例会　司会　石原　勇介

13:00　ガバナー講話　ＲＩ第２５７０地区

ガバナー　坂口　孝様

テーマ「国際ロータリー会長のテーマ

及び地区行動指針」

13:30　閉会点鐘　　会長　森　克巳

9･10月のプログラム　委員長　増渕　和夫

25日(木)　例会取消

10/2(木)　通常例会　「大畑　茂ガバナー補佐訪問」

食事:12時　点鐘:12時30分

9日(木)　例会取消

16日(木)　通常例会　「坂口　孝ガバナー公式訪問」

食事:12時　点鐘:12時30分

18日(土)　移動例会　「会員親睦会」食事:18時30分

場所:「日月火」 銀座店

クラブからの連絡

★坂口孝ガバナー公式訪問

日時:10月16日(木)　点鐘:12時30分

集合:11時　五年未満の会員義務出席

懇談会:11時15分

例会:12時30分　協議会:13時40分

☆例会出席は　会員の義務です
欠席の場合はMake　upをしましょう

http://www.niiza-rc.jp

国際ロータリー第２５７０地区　新座ロータリークラブ

新座ロータリークラブ事務局
〒352-0001　新座市東北2-25-11-406
電 話　048 (473)7041
FAX　048 (473)9221
Eメール　niiza.rc@dance.ocn.ne.jp